

2008 年度

科目名 東洋文化史 B	対象学科・学年 文学部全学科 2 回生 人間社 2 回生	担当者 梯 信暁
授業テーマ 中国古典の研究		
授業の概要と目標 東アジア諸地域の文化に大きな影響を与えた中国古典文献を紹介し、そこにあらわされた世界観・人間観・社会観などを分析して、東洋文化の淵源に触れるとともに、漢文文献の解読に必要な基礎知識の習得をめざします。後期開講のBでは、漢代に伝来した仏教と中国古来の思想との出会いがテーマです。今年度は牟子の『理惑論』を講読します。「仏」の意味や、靈魂のとらえ方、輪廻の理解など、初期中国仏教の問題意識を分析します。講読にあたっては、テキストのデータ化をめざし、受講生にはコンピュータを用いて課題に取り組んでももらいます。		
評価方法 授業中の発表（40％）・課題レポート（40％）・出席状況（20％）		
テキスト 原典資料をプリントして配布します。	著者	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 中国仏教概観 2. 牟子『理惑論』解題 3. 『理惑論』講読①：序文 4. 『理惑論』講読②：仏伝 5. 『理惑論』講読③：仏とは、道とは 6. 『理惑論』講読④：仏教の教説に対する種々の疑問 7. 『理惑論』講読⑤：孝の思想と出家の意味 8. 『理惑論』講読⑥：礼の思想と仏教 9. 『理惑論』講読⑦：靈魂のとらえかた 10. 『理惑論』講読⑧：中華思想と仏教 11. 『理惑論』講読⑨：世俗の福德 12. 『理惑論』講読⑩：仏法初伝 13. 『理惑論』講読⑪：五経と仏教 14. 『理惑論』講読⑫：仏教と神仙術 15. まとめ		